



みんなに支えられて 開幕戦好発進



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号



▲本校の応援に来た人たちによって赤く染め上げられた1塁側アルプススタンド

1 回表、波佐見高校に1点を先制されるが、その裏に本校が1点を獲得し並んだ。3回表に再び1点を獲られるも、裏に吉本孝祐君(3-4)の本塁打で3点を追加し逆転に成功した。

チアリーダー代表の藤原穂香さん(2-4)は1回表の守備について「投手も落ち着いていて自分の球を投げていたの、大丈夫だと思った」と振り返った。また「声をみんなで出し合うのは楽しい。この声を選手たちに届きたい」と応援について思いを述べた。

初進塁について西山亜希さん(3-4)は「東高生らしく攻撃も素晴らしくて尊敬する」と感想を話した。

川瀬高校吹奏楽チーム

2 回表、波佐見高校に1点を先制されるが、その裏に本校が1点を獲得し並んだ。3回表に再び1点を獲られるも、裏に吉本孝祐君(3-4)の本塁打で3点を追加し逆転に成功した。

東田七瀬さん(2-6)は2回が終わって「最初は緊張していたけど楽しく応援しています」と心境を話した。

辻山知志君(3-6)の弟、典生君は兄が盗塁を決めたことについて「隙があったから盗塁できたのだと思う。お兄ちゃんすごい」と尊敬のまなざしを送った。また兄が活躍する姿を見て「初めての甲子園でとてもうれしい。お兄ちゃんみたいに甲子園に出たい」と喜んでる様子だった。

本校野球部のOBであり、4年前の甲子園出場時に野球部に所属していた長谷川哲也さんは「ぎりぎり今の3年生と重なっている代なので、知っている後輩が甲子園に行ったことがすごくうれしかった。甲子園で『GO WEST』で応援できるのは4年ぶりなので楽しかった」と話した。

3 回表、波佐見高校に1点を先制されるが、その裏に本校が1点を獲得し並んだ。3回表に再び1点を獲られるも、裏に吉本孝祐君(3-4)の本塁打で3点を追加し逆転に成功した。

吉本君の父、賢一さんは息子が本塁打を放ったことについて「公式戦で初のホームランなので素直にうれしい」と、全校での応援について「多くの方々に応援してもらえるのが一番うれしい。みんなの応援で打たせてもらったのだと思う」と話された。

山本茂雄先生は吉本君の本塁打について「点を取られた後すぐ取り返すのがすごい。カッコいいし根性がある」と感想を述べられた。

野球部の大西彩斗君(3-5)は「最初は相手のペースで焦っていたが、吉本が打つたので試合も応援も盛り上がり上がった」と振り返った。

▶本校の応援を引っ張った応援団長の辻和彦君(3-6)

